

ダイバーシティ 新たな可能性を学生とともに

ダイバーシティとは、「多様性」を意味します。変化の激しい時代に、組織や地域が力強く進んでいくためには、多様性から生まれる活力が必要です。

平成29年度に、「男女共同参画推進室」と「女性研究者支援室」を発展統合する形で「ダイバーシティ推進室」を設置しました。「ダイバーシティ推進室」のもと、ダイバーシティ意識の醸成や多様性を尊重するための理解促進とともに、下図のような様々な教職員のワークライフバランス支援制度等を整えてきました。



- 1 ニュースレターの発行
- 2 メルマガ配信
- 3 シンポジウム・セミナーの実施
- 4 あれこれカフェタイムの開催
- 5 介護と仕事の両立支援
- 6 就業時間内の会議終了の徹底
- 7 病児保育施設等利用助成
- 8 臨床心理士によるカウンセリング
- 9 学童保育「ヤマミィ学級」・一時保育の実施
- 10 SOGI ガイドライン・SOGI 対応事例集の発行
- 11 女性・若手・外国人研究者比率の向上
- 12 学生団体 ilma との協働
- 13 研究者の裾野拡大

研究におけるダイバーシティの促進

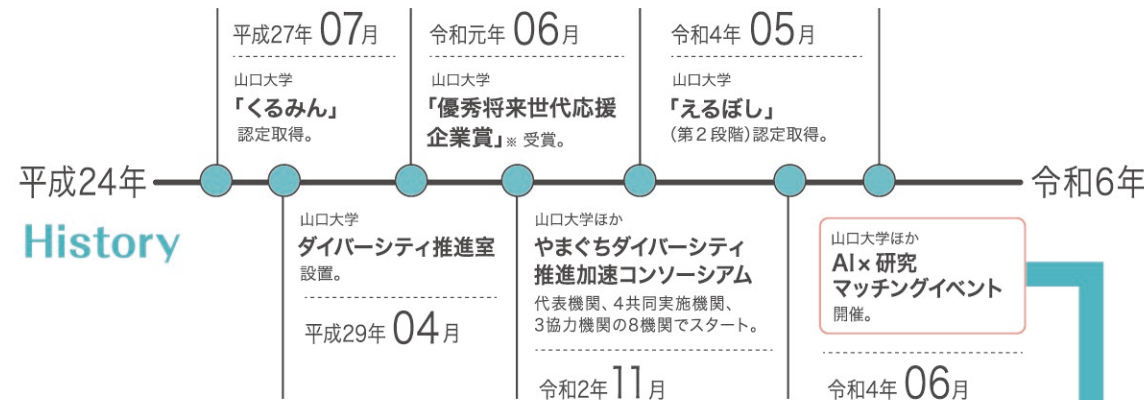
文部科学省や山口県などでは、大学の質の向上や社会課題解決するための優れた取り組みを実践する大学を選定し、重点支援をするための補助事業を実施しています。ダイバーシティ推進室では、これまでに文部科学省「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」、山口県「男性の家事参画フォーラム企画・運営事業」などに採択され、事業を推進してきました。

現在は、令和7年度を最終年度とする6カ年の事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」の

採択を受け、3つの柱(女性研究者の研究力向上、女性研究者の増加、女性上位職登用)を掲げ、県内の高等教育機関、企業、地方自治体と「やまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアム」を立ち上げて、地域全体の女性研究者の活躍促進と成果の可視化に取り組んでいます。

事業開始から3年が経過する中で、国立大学初となる「えるぼし(2つ星)」認定の取得や、研究者裾野拡大のためのオンラインイベントの開催などにつながっています。

山口大学及びやまぐちダイバーシティ推進加速コンソーシアムによる主な取組



※「優秀将来世代応援企業賞」とは、「日本創生のための将来世代応援知事同盟」から、子育て支援、女性や若者への支援、働き方改革において独自性・先進性のある取り組みを積極的に行っている企業に授与されるものです。

「AI研究デザインプロジェクト」-既存研究とAIの融合による新しい可能性-

このプロジェクトは、様々な分野で活用の進むAI技術に着目して、既存研究にAI技術を活用することで、研究効率化や活性化、さらに、新たな研究展開を図るものです。具体的には、学内にAIサーバーを設置し環境整備を行うとともに、研究者とAI研究者・技術者のマッチングを行います。



学生との連携、協働

キャンパスに集う学生も多様です。その多様な価値観に寄り添い、尊重し、それぞれの個性と能力を存分に発揮できるキャンパスを目指しています。そのために、学生の視点からの情報や意見を収集し、取り組み内容に反映させることはもちろん、学生にむけての情報発信にも力を入れています。

いくつかの学生協働を紹介すると、「ilma」(SOGI/LGBTQに関する理解促進活動をしている学生団体)、「kieli」(男女共同参画に関する情報を発信し、地域の男女共同参画意識を向上させることを目的とした学生団体)、「lanka」(山口大学のダイバーシティ推進に関する活動をしている学生団体)などが活躍しています。

また、山口大学図書館では、図書館サービスの向上や、ピアサポートを行う団体が、平成18年より活動してい

ます。図書館の学生団体は、図書館をより良くすることを目的として、図書館情報の発信、企画立案や展示などを行っています。

このほかにも広報室や学生特別支援室など様々な部署で学生協働が進んでいます。このような学生協働を大切にし、ダイバーシティキャンパスの充実に向けて邁進します。

ダイバーシティキャンパスから 多様な豊かな地域へ

地域における「知の拠点」として、大学は大きな役割を担っています。キャンパス内の多様性も高めつつ、地域との関わりや連携を強化し、地域全体の元気の創出を目指します。